

ベトナムの学校音楽教育への器楽教育導入・ 定着化施策を通じた学び

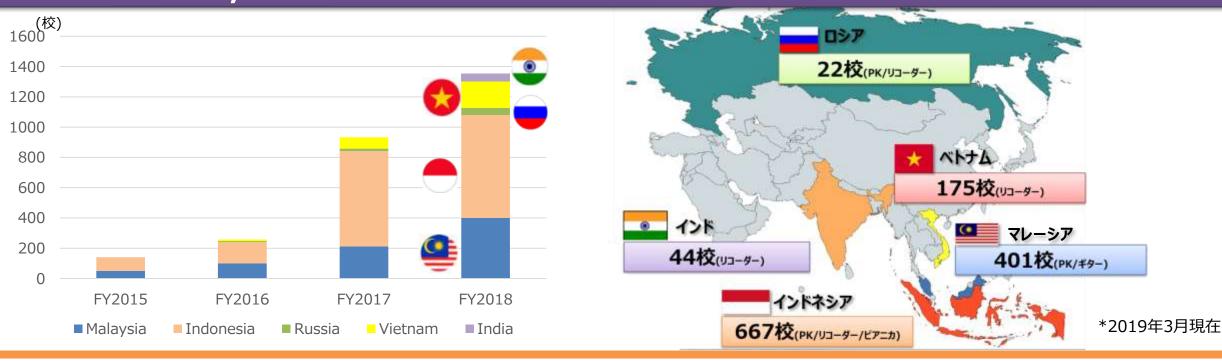
- 概要/日本型教育の強み -



ヤマハ株式会社 楽器・音響営業本部 AP営業統括部 AP戦略グループ 大竹 悠司 2019年11月8日

スクールプロジェクト: 新興国の学校音楽教育支援

5カ国1,300校で約26万名の生徒に器楽教育の経験機会を提供



活動を通じたルール=仕組の構築→SDGs達成への貢献+需要創造・ビジネス拡大







事業目的と背景

■目的

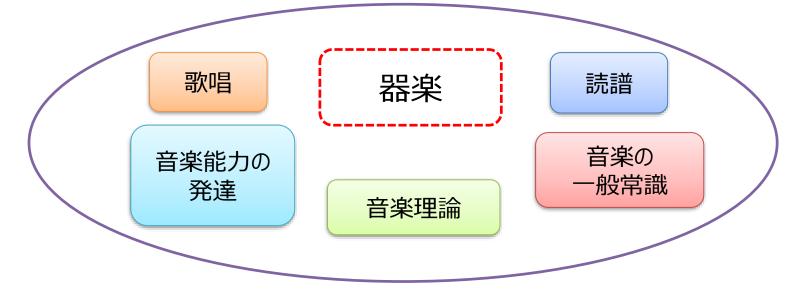
器楽教育導入を通じ、ベトナムの音楽教育の充実と教育全体の質向上、 及び現地の学校音楽教育ニーズに沿った国際貢献の実現

■背景

ベトナム学校音楽教育: 器楽教育が未導入

※ニーズはあるが、全国展開・持続可能な体制が未構築

→ヤマハの経験・ノウハウを活かし、支援が可能な分野



ベトナムでの音楽授業の様子





「EDU-Portニッポン」取組と成果(産官学連携事例)

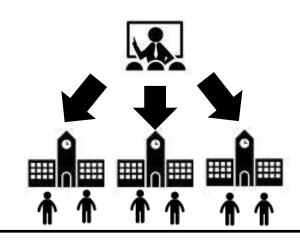


次期学習指導要領に器楽教育導入が決定!

「EDU-Portニッポン」: 現在の取組

2021年以降の対象学年新指導要領施行に向け教員養成をサポート

1. 現役学校教師向け研修





教育訓練省初等局との覚書に基づく研修

■新たに10都市100小学校の音楽教師200名に

リコーダーの指導法を研修中

→リコーダークラブ活動

実施校は275校に

■ 6名の核講師を発掘 (ハノイ/ホーチミン市)



2. 将来の学校教師向け授業





ハノイ国立教育大学でのパイロット

■2018年度JETROの「社会課題解決型ルール形成支援 プロジェクト」で「器楽指導法」講座を実施し、当社と協力覚

書を締結した国立ハノイ

<u>師範大学が新指導要領の</u> 教員養成核大学に

→同大教員による「リコー ダー指導法」講座を実施中



小学校音楽教師/生徒の声



小学校校長の声



dentia

ベトナムにおける音楽を通じた日本型教育の強み





ご清聴ありがとうございました。